



天文台だより

銀河の森天文台
2026 夏号
Vol.112

7/4(土)、第15回陸別スターライトフェスティバルを開催します！



国立天文台 佐藤 幹哉氏

講演会「流星雨の謎に迫る！～ダスト・トレイルと流れ星予報～」

開館日を記念し開催される、陸別スターライトフェスティバル。第15回目となる今年は、国立天文台より佐藤幹哉氏をお招きし、流星雨や流れ星の予報についてお話しいただきます。毎年楽しみな天文イベントといえば流星群！特別な流星雨の謎や、予報がどのようにされているのか、“流れ星予報”でお馴染みの佐藤幹哉先生から直接解説を聞ける、またとない機会です！みなさま、ぜひご来館ください。

また、この日は深夜0時まで延長開館を行います。115cm大型望遠鏡や屋上広場でゆっくりと月や星々をお楽しみください。望遠鏡をお持ちいただくと、屋上設置スペースにて展開、観望可能です！

夏のイベント情報！！

☆第15回陸別スターライトフェスティバル

開館日を記念して、皆様と一緒に星空を楽しむイベントを開催します。この日は深夜0時まで開館時間を延長します！

開催日時：7月4日(土) 午後2時～午前0時

講演会：午後7時～午後8時30分

空がおおよそ暗くなる時間：午後8時30分頃から

☆夏の天体観望会

観望会期間中は月明かりの影響が少なく、暗い夜空に夏の天体や天の川を楽しめます。

開催日：7月8日(水)～19日(日)

説明会：午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

空がすっかり暗くなる時間：午後9時20分頃から

☆ペルセウス座流星群と夏の天体観望会

今年のペルセウス座流星群は8月13日午前11時に極大時刻を迎えます。流れ星が多いと予想されるこの期間、夏おすすめの天体とあわせて観望会を開催します。

開催日：8月5日(水)～16日(日)

説明会：午後7時30分から(土曜・日曜・12日・13日のみ)

空がすっかり暗くなる時間：午後8時30分頃から

☆中秋の名月観望会

今年の中秋の名月は9月25日です。ぜひ、お月見にご来館ください。

開催日：9月25日(金)、26日(土)

説明会：午後7時30分から

月の出(陸別)：25日午後4時27分、26日午後4時47分

☆秋の天体観望会

見頃を迎える秋の天体を観望します。望遠鏡では、星団や海王星などをじっくり観察することができます。

開催日：9月30日(水)～10月11日(日)

説明会：午後7時30分から(土曜・日曜のみ)

空がすっかり暗くなる時間：午後6時30分頃から

「館長コラム」

夏至を過ぎたこの頃ですが、まだ日が暮れるのも遅く、夜明けも早く星が見られる時間はとても短い時期になります。そんなときに星空をイメージするのに便利なのが「星座アプリ」です。

今では、PCやスマホなどで様々なアプリが手に入るの、皆さんもご覧になったことがあると思います。私も数種類を使い分けています。このようなアプリがない時代は、星図とか星座早見盤といったものを使っていました。このアプリを使うといろいろなことができるのですが、全天の88星座をひとつひとつ見ていくことができます。

星座には、境界があって、それぞれ領域を持っています。その中で一番小さいのが、「南十字座」南十字星で有名な星座です。実際に見ると明るい4つの星で十字を構成しているので、目立つ美しい並びなので、一番小さい星座とは思えません。残念なことには北海道からは見られませんが、機会があれば南半球でご覧になってください。

次に小さな星座は、「こゝろ座」です。夏から秋に見られる星座です。暗い星ばかりなので見つけるには、天の川が見られるような暗い場所に行かないと無理かもしれません。なんとなく場所を見つけても仔馬を想像するのは難しいと思います。そんな時には、星座アプリを使って、星座の形や由来などを検索して楽しむことができるので皆さんも試してみてください。



館長 津田浩之(双子座)

暦表

(陸別町)

	日の出	日の入	月齢	月の出	月の入
7月 1日	3:44	19:14	16.0	20:18	4:23
7月 15日	3:53	19:08	0.7	4:19	19:57
8月 1日	4:10	18:52	17.7	19:58	6:39
8月 15日	4:26	18:33	2.4	7:06	19:34
9月 1日	4:45	18:05	19.4	19:27	9:08
9月 15日	5:00	17:39	4.0	9:26	19:05

天文行事&暦

7月

- 4 第15回陸別スターライトフェスティバル
- 7 小暑(24節気:太陽黄経105°)
- 8-19 夏の三角と天体観望会
- 14 ●新月
- 17 北海道みんなの日(入館料無料)
- 23 大暑(24節気:太陽黄経120°)
- 29 ○満月



8月

- 2 水星が西方最大離角
(光度:0.2等, 離角:-19°28')
- 5-16 ペルセウス座流星群と夏の天体観望会
- 7 立秋(24節気:太陽黄経135°)
- 13 ●新月
ペルセウス座流星群が極大
(AM11時 最大40個/時)
- 15 金星が東方最大離角
(光度:-4.4等, 離角:45°53')
- 19 伝統的七夕(旧七夕)
- 23 処暑(24節気:太陽黄経150°)
- 28 ○満月

9月

- 7 白露(24節気:太陽黄経165°)
- 11 ●新月
- 19 金星が最大光度(-4.8等)
- 21,22 特別開館
- 23 秋分(24節気:太陽黄経180°)
- 24 振替休館
- 25 中秋の名月
- 25,26 中秋の名月観望会
- 26 海王星が衝(7.7等, 視直径2".4)
- 27 ○満月
- 30-10/11 秋の天体観望会

暮らしと宇宙「公開天文台100周年」

今年、日本で最初の公開天文台が設立されてから、100周年を迎えます。公開天文台とは、その名の通り、広くみなさんに開かれご利用いただける天文台で、日本全国に約300の施設があります。全国初となる公開天文台は岡山県倉敷市にある「倉敷天文台」で、1926年11月21日に設立されました。

現在、公開天文台の全国組織である日本公開天文台協会(JAPOS)では、「星空と人をつないで 一世紀」というキャッチコピーのもと、100周年を記念し様々なイベントが実施されています。

「みんなで見よう!メシエ天体」「ほしぞら総選挙」「今、天文台にいます」掲示板など、全国各地でみなさんにご参加いただけますので、ぜひ星空と一緒に楽しみください!

夏の夜は暗い時間が短いです。星涼みに銀河の森天文台にもお越しいただければ幸いです。(守)

公開天文台
100周年記念
特設サイト▶



▲メシエマラソン記録チェッカー

星座小噺「猛毒持ちのサソリ座」

今回は黄道12星座のうちの1つ、さそり座についてお話していきます。

夏の星座の中でもさそり座の名前を知っている人は多いのではないのでしょうか。有名なさそり座ですが、北海道からだ全体像がぎりぎり地平線の上に昇る程度のため、知名度の割に見たことがあるという方は少ないかもしれません。

さそり座の星の並び自体はS字のような、釣り針のような形をしており、特徴的な形で見つけやすいですが、昇る高さから見つけにくくなっています。

そんなさそり座の神話ですが、有名なので知っている方も多いかもしれません。さそり座のモデルはオリオンを毒針で刺したとされるサソリで、大神ゼウスがオリオンとサソリ両者の魂を讃え、星座にしたというものです。両者とも星座になっていますが、オリオンはサソリから逃げるように沈んでいくと言われます。

日本からは2つの星座を同時に見ることはできませんが、星座同士の間を感じることができない不思議な星座ですね。(寺)



Scorpio

天文台からのお知らせ

- ☆ 7月17日(金)は北海道みんなの日に伴い、入館料が無料となります。
- ☆ 9月21日(月)、22日(火)は、特別開館いたします。
- ☆ 9月24日(木)は、振替休館となります。

プラネタリウム情報!!

プラネタリウムは、開館日の土・日・祝日のみの上映になります。
定員:10名(入館者先着順、受付にて整理券を配布)
上映時間:午後3時、4時、5時(開館日の土・日・祝日のみ)
上映番組:「今夜の星空」(各回約10分)

発行・編集:りくべつ宇宙地球科学館(銀河の森天文台)
〒089-4301 北海道足寄郡陸別町宇遠別 TEL:0156-27-8100
URL: <https://www.rikubetsu.jp/tenmon/index.html>
E-mail: ginga@rikubetsu.jp Twitter: @ginganomori_obs

